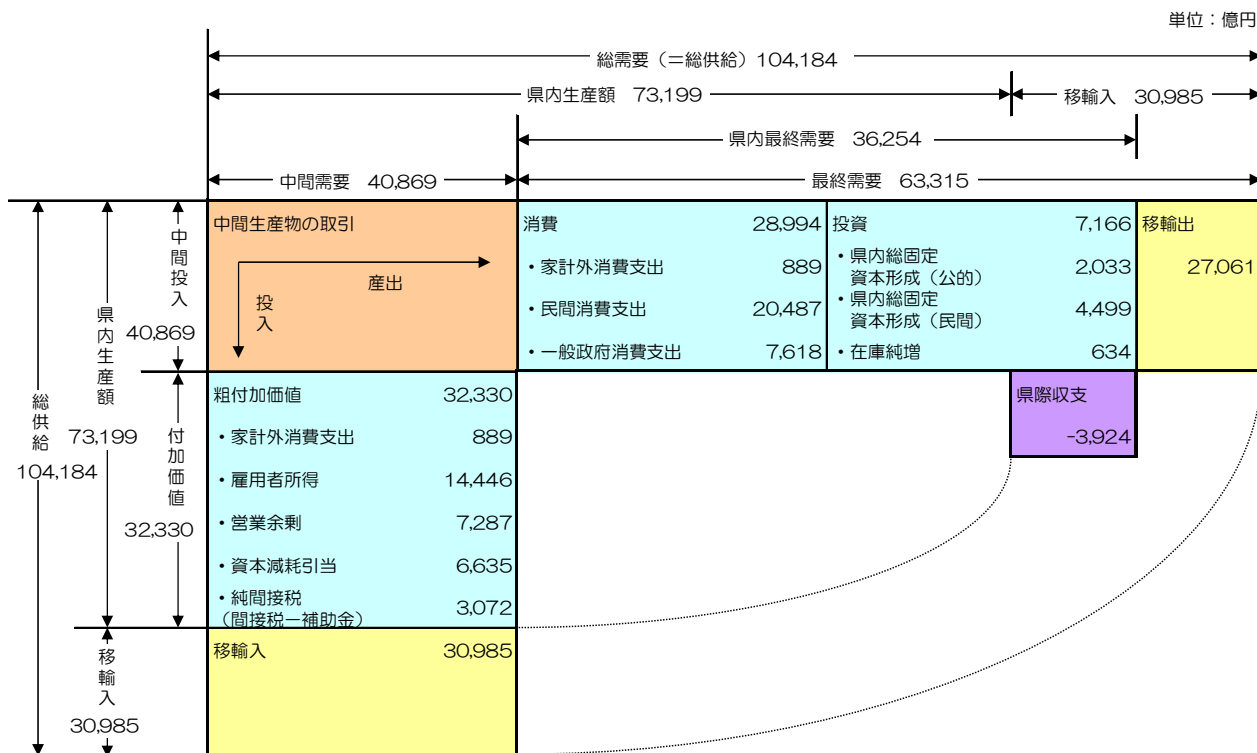


2 県経済の規模と構造

下の図は、平成23年の本県における経済の規模と循環構造を単純に図式化したものになります。

平成23年（2011年） 和歌山県経済の規模と循環構造



(注1) 四捨五入の関係で、内訳は必ずしも一致しません。

(注2) 県内最終需要には、調整項の額も含んでいるため、内訳の合計と一致しません。

この図を供給面である縦方向（列）にみると、平成23年の和歌山県で生産された財・サービスの総額である県内生産額は7兆3,199億円となっており、これに県外からの供給となる移輸入額の3兆0,985億円を加えた10兆4,184億円が総供給額になっています。また、県内生産額のうち、生産活動に必要な原材料や燃料等である中間投入額が4兆0,869億円投入されており、付加価値となる労働や資本等からなる、粗付加価値額3兆2,330億円が生み出されていることが解ります。

次に、需要面である横方向（行）にみると、県内生産額に移輸入を加えた財・サービス10兆4,184億円が供給（総供給）され、そのうちの7兆7,123億円が県内需要として県内で使用されており、2兆7,061億円が県外に移輸出されています。また、県内需要のうち4兆0,869億円が生産のための原材料等として消費されており（中間需要）、残りの3兆6,254億円が家計消費や投資等となる県内最終需要額にまわっていることが解ります。